

## はしがき

本書『中東・イスラーム諸国 民主化ハンドブック 2014』は、イスラーム地域研究東京大学拠点研究に属する「中東・イスラーム諸国の民主化」研究班の成果物のひとつです。これは、当研究班のホームページに掲載されている「中東・イスラーム諸国 民主化データベース」の2014年10月末時点の内容を活字媒体として編集したものです。同様の活字媒体である2008年発行の『中東民主化ハンドブック 2007』、2009年発行の『中東・イスラーム諸国 民主化ハンドブック 2009』、2010年発行の『中東・イスラーム諸国 民主化ハンドブック 2010』に続く、4冊目の印刷物となります。1冊目の対象事例は10、2冊目の対象事例は17、3冊目は23でしたが、今回は30事例となりましたので、2分冊といたしました。トルコ、イラン、イラク、シリア、レバノン、ヨルダン、パレスチナ、サウジアラビア、クウェート、アラブ首長国連邦、カタル、バハレーン、オマーン、イエメン、エジプト、スーダン、リビア、チュニジア、アルジェリア、モロッコの19カ国と1自治政府を「中東編」、パキスタン、バングラデシュ、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、カザフスタン、ウズベキスタン、アルメニア、アゼルバイジャン、グルジアの10カ国を「アジア編」として編集いたしました。もちろん、「中東編」のなかには多くの西アジア諸国が含まれており、「アジア編」という分類と重なるのですが、あくまで便宜的なもののご理解ください。

本書の目的はデータベースおよびこれまでのハンドブックと同様に、中東・イスラーム諸国の民主化に関わる制度と運用の解説です。それは、「現在の政治体制・制度」（憲法に規定された三権の位置付け、大統領／首相／国王、政府、議会、選挙、地方行政などに関わる規定）、「民主化の経緯」（民主化が実施されている事例の史的展開、民主化が実施されていない事例の近年の政治変化など）、「選挙」（選挙制度の内容とその実際の運用状況や問題点。近年の総選挙、大統領選挙の結果など）、「政党」（政党制度の内容とその実際の運用状況や問題点。主要政党の解説。政党が禁止されている事例の政治団体の解説など）の4項目から構成されています。ただし、国ごとにその状況がさまざまであるため、項目は統一されているものの、記述内容は当該事例の特色に合わせた多様なものとなっています。加えて、特にアラブ諸国の場合は2011年「アラブの春」以降、流動的な政治情勢が続いたため、データベースの執筆に支障が生じた国も少なくありません。もちろん、憲法改正や選挙の結果などが加筆されている国々もありますが、状況の不安定さから現段階での加筆が困難であった国々もあります。これもまた、民主化に関わる現実でありますため、政治変化や現状に対するさらなる解説や評価は、今後のデータベース加筆やハンドブックの発行に委ねることといたしました。どうか、ご理解をお願いいたします。

データベースの構築および維持には、東京大学拠点構成員である小松久男・東京外国語大学特任教授ならびに中心拠点研究協力者である大足恭平氏（青山学院大学情報メディアセンター助手）に大変お世話になりました。また、当研究班の活動および本書の発行には、長沢栄治・東京大学東洋文化研究所教授ならびに東京大学拠点研究員の河原弥生氏に、大変お世話になりました。さらに本書の編集・印刷作業では、飯野りさ氏（東京学芸大学非

常勤講師)に多大な協力をいただきました。そして、データベースおよび本書の執筆者の方々には、当研究班の趣旨にご賛同いただき、ボランティアにてご執筆をいただいております。この場をお借りして、皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

2015年3月25日 編者

関係各ホームページのアドレス：

「中東・イスラーム諸国の民主化」研究班（民主化データベースを掲載）：

<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~dbmedm06/>

東京大学拠点：<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/tokyo-ias/>

イスラーム地域研究：<http://www.islam.waseda.ac.jp/>